

## 追加された機能・変更点

この資料は以下の製品について記述したものです。

- ・支払管理 for 勘定奉行 21

特記がない限り、記述内容はスタンドアロン版・LANPACK 版・新 ERP 版共通です。

### ● Ver. 5.52で追加された機能・変更点

---

#### ■平成 26 年 4 月施行消費税 8 %改正に対応

平成 26 年 4 月施行消費税 8 %改正に伴い、下記項目に対応しました。

- ・消費税 8 %への引き上げ

## ● Ver. 5.51で追加された機能・変更点

---

### ■ サーバーセットアッププログラムの修正

支払管理 Ver5.50 のサーバーセットアッププログラムを、勘定奉行のクライアントプログラムがセットアップされていない環境で実行すると、「勘定奉行のバージョンが未対応です。」が表示され、セットアップできない不具合を修正しました。

## ● Ver. 5.50で追加された機能・変更点

---

### ■ 勘定奉行 21Ver. 5.50 に対応

勘定奉行 21Ver. 5.50 のスタンドアロン・LANPACK・新 ERP に対応しました。

## ● Ver. 5.01で追加された機能・変更点

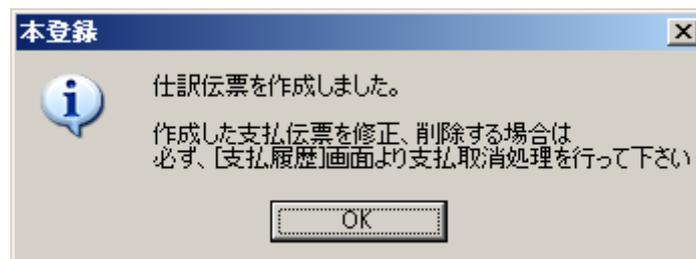
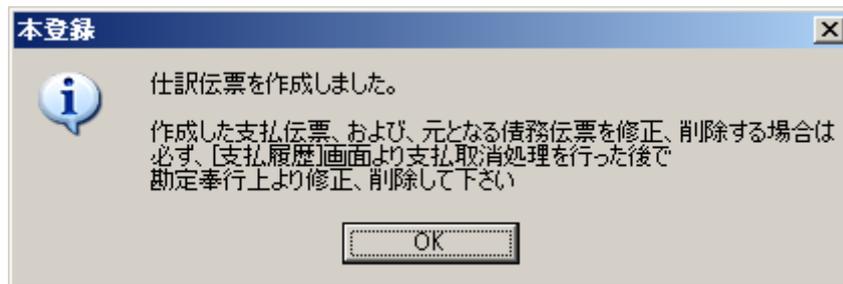
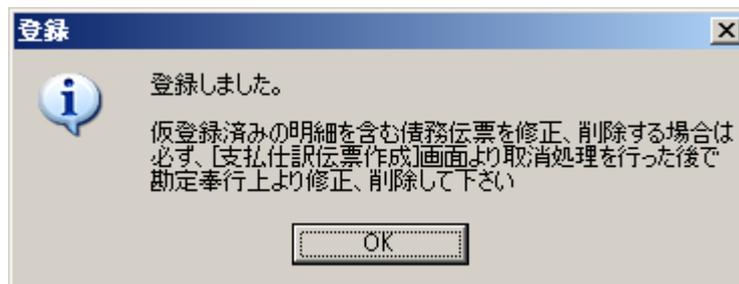
---

### ■ [支払先コード変更]メニューの追加

支払先マスターの支払先コードを変更するメニューを追加しました。

### ■ 消込時のメッセージ変更

[対象伝票選択]、[支払仕訳伝票作成]、[即時支払仕訳伝票作成]の登録時のメッセージに消込済の仕入伝票、支払伝票は取消処理後に修正、削除するメッセージを追記しました。



### ■ 休日マスタの初期値変更

会社銀行法に準拠し、休日マスタの初期値より 12/30 を削除しました。

## ● Ver. 5.00で追加された機能・変更点

---

### ■ 勘定奉行 21Ver. 5 に対応

勘定奉行 21Ver. 5 のスタンドアロン・LANPACK・新 ERP に対応しました。

## ● Ver. 4.03で追加された機能・変更点

### ■手数料算出方法（未満手数料加算型）の追加

従来は、『据置型』でのみ手数料算出をしていましたが、『未満手数料加算型』による算出を追加しました。2つの算出方法の違いは下記を参照してください。

「未満手数料加算型」とは、[振込手数料情報]の振込金額の範囲に、その金額未満の場合に適用される振込手数料を加算した振込金額の範囲に応じて、振込手数料を計算することです。

(例) [振込手数料情報]で、以下のとおり登録した場合

振込金額	振込手数料
0円以上 ~ 30,000円未満	105円
30,000円以上 ~	315円

手数料の計算時は、以下のとおり計算されます。

振込金額	振込手数料
0円以上 ~ 30,105円未満	105円
30,105円以上 ~	315円

支払金額：30,104円の場合は、

振込手数料：105円 振込金額：29,999円 金融機関に実際に支払う振込手数料：105円となります。

※上記の計算をすることで、差し引く振込手数料と金融機関に実際に支払う振込手数料の差額を少なくしています。

ただし、以下のような金額の場合は、差額が生じてしまいます。

支払金額：30,105円の場合は、

振込手数料：315円 振込金額：29,790円 金融機関に実際に支払う振込手数料：105円となります。

「据置型」とは、[振込手数料情報]の振込金額の範囲で振込手数料を計算することです。

(例) [振込手数料情報]で、以下のとおり登録した場合

振込金額	振込手数料
0円以上 ~ 30,000円未満	105円
30,000円以上 ~	315円

手数料の計算時は、以下のとおり計算されます。

振込金額	振込手数料
0円以上 ~ 30,000円未満	105円
30,000円以上 ~	315円

支払金額：30,104円の場合は、

振込手数料：315円 振込金額：27,789円 金融機関に実際に支払う振込手数料：105円となります。

※「未満手数料加算型」に比べ、差額が生じる範囲が広がっています。

## ■FB データ作成対象判定機能の追加

表示項目として『FB』欄を設けて、支払方法等の状態によりFB作成対象であるか否かを識別できるようになりました。

対象：対象伝票選択、支払仕訳伝票作成、即時支払作成、即時支払仕訳伝票作成

## ■金額桁数の拡張

従来は金額桁数は、9桁までとなっていましたが、10桁に拡張しました。

対象：即時支払作成

## ■消費税額・税区分・税処理・事業区分の変更機能の追加

従来は、消費税額の入力、税区分・税処理の変更は行えないような仕様でしたが、変更可能としました。消費税額の変更を行うケースに備えて、端数処理（切り捨て/四捨五入/切り捨て）機能も追加しました。

対象：即時支払作成

## ■データ領域選択時のセキュリティ強化

従来は、入金管理オプション側でデータ領域を選択する際、勘定奉行の会社権限登録を考慮せずすべてのデータ領域を表示していましたが、セキュリティ強化のため、会社権限登録の設定内容を考慮して表示するように変更しました。

対象：翌年度更新

## ■ [不整合データチェック]メニューの追加

入金管理オプションで作成した仕訳伝票を修正・削除した場合に発生する不整合データをチェックするメニューを追加しました。

不整合が発生している場合にチェックリストを出力することができます。

## ■ [支払先元帳出力]メニューの機能強化

従来は、入金管理オプションで作成した入金仕訳伝票を赤伝作成にて取り消した場合に、相殺が完了している債権と入金が支払先元帳出力に表示されていましたが、これを表示しないようにするツールを追加しました。

不整合が発生している場合にチェックリストを出力することができます。

ツール名 : ShiharaiAkadenDel.exe

下記の場所に配置しています。

X:¥OBCWIN¥OBCZLMC5¥AddMenu

※ Xはインストールドライブです。

※ 青文字部分はお使いの製品によって異なります。

勘定奉行 21Ver. IV スタンドアロン= OBCZSMC5

勘定奉行 21Ver. IV LANPACK= OBCZLMC5

勘定奉行 21Ver. IV 新 ERP= OBCZLMC5

勘定奉行 21Ver. III スタンドアロン= OBCZSMC1

勘定奉行 21Ver. III LANPACK= OBCZLMC2

勘定奉行 21Ver. III 新 ERP= OBCZLMC2

## ● Ver. 4.01で追加された機能・変更点

---

### ■ 導入ガイドの追加

新たに運用を始めるお客様向けに、CD-ROMのManualフォルダ内に、導入ガイドを追加しました。導入時のマスタ設定から日々の日常処理までの流れと操作説明・ポイントをまとめた資料です。

### ■ FB作成における先方負担時の手数料金額の仕様を変更

従来は、振込手数料：先方負担のFBデータを作成する際、支払元の債務情報が複数あった場合に、振込金額を決定する要素となる振込手数料金額は、一番初めに処理した債務情報の振込手数料を使用していましたが、振込手数料が一番高い債務情報の振込手数料を使用するように変更しました。

### ■ 出力帳票のデータ抽出処理のスピードアップ

データ抽出処理のスピードを向上しました。

対象：支払履歴

Ver4.00 まで

1,000件のデータで約10秒

Ver4.01以降

1,000件のデータで約5秒

※処理速度は使用するコンピュータに大きく依存します。

## ● Ver. 4.00で追加された機能・変更点

### ■ 勘定奉行 21Ver. IVに対応

勘定奉行 21Ver. IVのスタンドアロン・LANPACK・新 ERP に対応しました。

### ■ 2007 年 1 月 1 日施行 国民の祝日に関する法律に対応

2007 年 1 月 1 日施行 国民の休日に関する法律に対応しました。

これに伴い、以下の点に変更となりました。

- ・ 4 月 29 日を「昭和の日」から「みどりの日」に変更
- ・ 5 月 4 日を「みどりの日」として休日に設定

なお、この追加は新規に会社データを作成した段階から反映します。

すでに運用中の会社データについては自動的に反映されません。必要に応じて、手動で設定してください。

### ■ [仕訳一括転記]メニューを追加

勘定奉行において、仕訳認証機能を利用している場合に、支払管理オプションから作成した仕訳伝票を転記する機能を追加しました。

従来、支払管理オプションから作成した仕訳伝票を、勘定奉行の転記処理で転記すると、オプションとのリンク情報が切れ、正常な管理ができなくなっていた現象を回避することができます。

勘定奉行の仕訳認証機能を利用している場合、支払管理オプションが作成した仕訳伝票は、今回追加した [仕訳一括転記] メニューから転記処理をする必要があります。

### ■ 出力帳票のプレビュー画面に総ページ数を追加

帳票のプレビュー画面に総ページ数を追加しました。

(従来) [ 1/1++ ]

(Ver4.00 から) [ 1/3 ]

対象：全帳票



Ver4.00 以前



Ver4.00

## ■ FB 作成における先方負担時の手数料金額の仕様を変更

従来は、振込手数料：当方負担のFB データを作成する際、支払元の債務情報が複数あった場合に、画面上に表示する振込手数料は、一番初めに処理した債務情報の振込手数料を使用していましたが、全ての債務情報の振込手数料を合算して表示するように変更しました。

## ● Ver. 3.55で追加された機能・変更点

### ■ 翌期日付の仕訳伝票（支払）に対する機能を追加

当期のデータ領域で、伝票日付（支払日）が翌期の日付になる仕訳伝票において、振込手数料明細の作成有無を選択する機能を追加しました。

勘定奉行 21Ver. IVのスタンドアロン・LANPACK・新 ERP に対応しました。

### ■ 出力帳票の検索条件・並び順、出力項目を追加

検索条件・並び順指定、出力項目に、部門を追加しました。

対象：支払予定表

支払先  
伝票日付 年 月 日 ~ 年 月 日  
支払予定日 年 月 日 ~ 年 月 日  
会社銀行 ~

表示順  
 支払先  伝票日付  支払予定日  会社銀行

検索(S)

Ver3.54 より前



支払先  
伝票日付 年 月 日 ~ 年 月 日  
支払予定日 年 月 日 ~ 年 月 日  
会社銀行ID ~  
部門 ~

表示順  
 支払先  伝票日付  支払予定日  会社銀行ID  部門

検索(S)

Ver3.55 以降

## ● Ver. 3.54で追加された機能・変更点

---

### ■ [支払先区分マスタ]メニューを追加

支払先区分マスタは、支払先マスタで利用し、対象伝票選択の検索条件として使用します。  
従来は、支払先マスタのコードの範囲指定のみでの検索だったため、任意の支払先を検索する際に余計な支払先まで検索し、処理時間がかかってしまう問題を軽減しました。

### ■ [FB データ作成]メニューに作成済み区分を追加

[FB データ作成]メニューの検索条件として、作成済み区分を追加しました。  
FB データ作成対象となる支払情報を検索する際に、FB データ未作成のみ/FB データ既作成のみ/全てのデータから対象の支払情報を絞り込むことができます。

### ■ [FB データ作成]メニューに CSV 出力機能を追加

作成内容の事前確認用として、[FB データ作成]メニューの検索結果を CSV ファイルに出力する機能を追加しました。

### ■ [支払先マスタ]メニューの総勘定科目の必須登録制限を解除

[即時支払作成]メニューのみを利用するお客様を想定し、[支払先マスタ]メニューの総勘定科目を登録必須項目から解除しました。

### ■ [支払方法マスタ]メニューの総勘定科目・補助科目重複登録制限を解除

[支払方法マスタ]メニューでの同一総勘定科目・補助科目の登録制限を解除し、現金支払・小切手支払を別支払方法として登録するようなケースにも対応しました。

## ● Ver. 3.51で追加された機能・変更点

---

### ■ ボタンメニュー形式の変更

従来のボタンメニューから、奉行 21 シリーズライクなボタンメニューに変更しました。

### ■ 相殺仕訳の消し込み機能を追加

対象伝票選択機能において、勘定奉行に登録されている債務の相殺仕訳伝票を消し込むことができるようになりました。

### ■ [ユーザー権限登録]メニューの追加

勘定奉行 21 シリーズに準拠した[ユーザー権限登録]メニューを追加しました。

### ■ 「即時支払作成」メニュー・「即時支払仕訳伝票作成」メニューの追加

支払管理オプションに支払情報を登録し、勘定奉行へ支払仕訳を登録する、即時支払作成機能を追加しました。債務の計上を経ない支払処理が可能となりました。

### ■ 相殺仕訳の消し込み機能を追加

対象伝票選択機能において、勘定奉行に登録されている債務の相殺仕訳伝票を消し込むことができるようになりました。

### ■ 振込支払時に作成する仕訳伝票を強化

振込支払時に先方負担で処理をした場合に作成する仕訳伝票において、貸方科目の指定ができるようになりました。

### ■ [非表示明細再表示]メニューを追加

対象伝票選択機能において、非表示にした明細を再表示するメニューを追加しました。誤って非表示にしてしまった場合など、非表示明細を再び表示できるようになりました。

## ● Ver. 3.50で追加された機能・変更点

---

### ■ 勘定奉行 21Ver. Ⅲに対応

勘定奉行 21Ver. Ⅲのスタンドアロン・LANPACK・新 ERP に対応しました。

以 上